

コミュニケーション

- ・パニック障害がある者向けの、自分の考えていることを整理し、相手のスマートフォン等を通じて伝えてくれるヘッドホン型等のウェアラブル機器。
- ・コミュニケーションに困難を抱える者を支援するため、相手の感情や自分の感情を、心拍や体温等により予測し、可視化するシステム。
- ・コミュニケーションに困難を抱える者を支援するため、長文を短文にする、文字を音声に変換するなど、文章情報を理解しやすい形に変換して伝えるシステム。
- ・コミュニケーションに困難を抱える者を訓練するため、VRを使い、AIとの間でコミュニケーションの練習ができるシステム。
- ・盲ろう者用の、点字以外の触覚を用いたコミュニケーション手段の開発。
- ・肢体不自由に加え、精神・知的障害がある子ども向けの、はっきりしない発声を感知した場合、聞き取りやすい音声に補正してくれるスピーカー。

移動支援

- ・障害種別に応じ、公共施設や交通機関等のリアルタイムの情報を、個人が持つICT端末に提供する移動支援システム。
- ・発達障害者向けの、出発前に経路等をイメージして安心して出かけられるようにするVRサービス。
- ・重症心身障害児(者)向けの、ベッドから車いすへの移乗、車いすの移動を行うとともに、車による移送サービスも支援してくれるロボット。

日常生活

- ・知的障害者の日常生活を補助するため、冷蔵庫の在庫管理、外出時の服装の提案、預金及び給与・年金等の収入管理等を行うAI。
- ・医療的ケアを必要とする者向けの、投薬者・投薬時間・投薬内容等を管理し、誤投与を防ぎつつ、介護者や遠方の家族等に対する緊急時の通報等を行う必要な医療的ケアの内容をインプットされたAI。
- ・体調変化を伝えることができない知的障害のある子どもの発熱等に介助者が気が付くことができるよう、出入口等に人感センサーをつけ、子どもの体温を都度検温するシステム。
- ・寝たきりの障害者向けの、視線操作可能な家電。
- ・集団行動がとりにくい、指示出しが必要な子ども向けの、他人には聞こえず自分にだけ聞こえる「指向性スピーカー」を用いた遠隔アドバイスシステム。
- ・自閉症の子どもに対し、子どもの特性に応じた個別指導を可能とするセンサー付下敷き。
- ・肢体不自由に加え、精神・知的障害がある子どもが物を紛失しないよう、身の回りの物についた電子タグにより所在を確認できるシステム。

仕事

- ・知的障害の障害特性に対応して作業手順を整理。能率の向上とともに、健康状態等の常時把握を可能とする職場環境の整備。
- ・AIによる(知的障害の)教育、訓練、指導を行う者のスキルの平準化を実施するサービス。
- ・自閉症等の環境変化によるパニックをなくすため、自分の好きな感触、圧力、暗さ、振動を感じることができる音波を出せるスピーカー。

余暇

- ・移動困難者であっても、(VR、AR等を利用して)自宅に居ながら観光地に外出した体感ができ、実際の店舗と同じ様に買い物ができる環境の整備。
- ・全ての店舗や公共施設において障害者に対して意思疎通が可能なAI等を具備する環境の整備。

ヒアリングを実施した障害関連団体の一覧

2/5 (月)

- ・公益社団法人全国脊髄損傷者連合会
- ・公益財団法人日本知的障害者福祉協会
- ・一般社団法人全国地域で暮らそうネットワーク
- ・一般社団法人全国児童発達支援協議会
- ・一般財団法人全日本ろうあ連盟
- ・社会福祉法人全国盲ろう者協会
- ・特定非営利活動法人D P I 日本会議
- ・全国手をつなぐ育成会連合会

2/7 (水)

- ・社会福祉法人日本身体障害者団体連合会
- ・一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
- ・一般社団法人日本自閉症協会
- ・社会福祉法人全国重症心身障害児（者）を守る会
- ・社会福祉法人日本盲人会連合
- ・一般社団法人日本発達障害ネットワーク
- ・全国精神保健福祉会連合会
- ・全国医療的ケア児者支援協議会

2/16 (金)

- ・全国肢体不自由児施設運営協議会
- ・一般社団法人日本難病・疾病団体協議会